

平成 17 年 9 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社 アクセル  
代 表 者 名 代表取締役社長 佐々木 譲  
(JASDAQ・コード 6730)

問 合 せ 先  
役職・氏名 取締役  
管理グループゼネラルマネージャー  
千代 進弘

電 話 03-3511-1861

## 平成 18 年 3 月期中間業績予想及び 通期業績予想の修正等に関するお知らせ

平成 18 年 3 月期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）の業績予想について、平成 17 年 4 月 27 日付当社「平成 17 年 3 月期決算短信（非連結）」において発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

### 1. 平成 18 年 3 月期 業績予想の修正等

#### (1) 中間期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

|            | 売 上 高 | 経 常 利 益 | 中 間 純 利 益 |
|------------|-------|---------|-----------|
| 前回予想 (A)   | 3,915 | 1,949   | 1,191     |
| 今回修正 (B)   | 3,678 | 1,902   | 1,152     |
| 増減額 (B-A)  | △237  | △47     | △39       |
| 増 減 率      | △6.1% | △2.4%   | △3.3%     |
| 中間期実績 (前期) | 3,278 | 1,458   | 896       |

#### (2) 修正理由

中間期予想売上高につきましては、当初より昨年 7 月のアミューズメント機器に係る規則改正を受けて特需的市場動向を示した前期（平成 17 年 3 月期）第 4 四半期の反動から、当期（平成 18 年 3 月期）第 1 四半期の市場における製品需要が若干縮小するものと想定しておりましたが、当初想定を超える縮小幅となったこと及び前期（平成 17 年 3 月期）第 4 四半期以降に販売された当社グラフィックス LSI 製品を搭載していないアミューズメント機器の販売動向等から当第 1 四半期の売上高が比較的厳しい結果となりました。第 2 四半期以降につきましては、市場動向も通常の動きに戻りつつありますが、中間期末時点での販売（納品）予定数量から推測される当中間期の売上高予想は、当初予算に比較して 237 百万円減（△6.1%）の 3,678 百万円となりました。

なお、今回修正の中間予想売上高の対前年同期比較は、399 百万円（12.2%）の増加となっております。

中間予想経常利益以下につきましては、以下のような修正事項を加味した見直しを実施いたしました。売上総利益につきましては、仕入コスト等に変動が無く、売上高の減少に伴う減少となるものと分析しております。次に、販売費及び一般管理費につきましては、複数の開発案件の統合化及び広告宣伝端末系開発案件の月ずれなどにより当初予算策定時の予定金額を下回る支出となることが想定されております。また、営業外収益費用の項目につきましても、営業外費用の発生が当初予想を下回る見通しとなりましたことを受けて、今回修正の予想経常利益は当初予算に比較して 47 百万円減（△2.4%）の 1,902 百万円と見込みました。上記中、販売費及び一般管理費の減少率が売上高の減少率を上回る想定となりました結果、経常利益の減少率が売上高の減少率を下回る予想値となっております。

また、特別利益以下の予算には大きな変動が無く、今回修正の中間純利益は、当初予算と比較して 39 百万円減（△3.3%）の 1,152 百万円の見込みといたしました。

なお、今回修正の中間予想経常利益の対前年同期比較は、443 百万円（30.4%）の増加を見込み、修正中間純利益の対前年同期比較は、255 百万円（28.5%）の増加となっております。

(3) 通期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

|           | 売上高   | 経常利益  | 当期純利益 |
|-----------|-------|-------|-------|
| 前回予想 (A)  | 8,301 | 3,867 | 2,384 |
| 今回修正 (B)  | 7,620 | 3,641 | 2,227 |
| 増減額 (B-A) | △681  | △226  | △157  |
| 増減率       | △8.2% | △5.8% | △6.6% |
| 通期実績 (前期) | 7,345 | 3,273 | 2,063 |

(4) 修正理由

通期予想売上高につきましては、第一に当期（平成 18 年 3 月期）第 1 四半期以降に販売された当社グラフィックス LSI 製品を搭載していないアミューズメント機器の販売動向の影響、第二にアミューズメント機器のうちパチスロ機の新基準適合機市場投入の遅延及び当初計画において当期（平成 18 年 3 月期）第 3 四半期からの市場投入を予定しておりました新たなカテゴリーに属する LSI 製品が来期（平成 19 年 3 月期）からのスタートとなったことなどを受け、当初予算に比較して 681 百万円減（△8.2%）の 7,620 百万円を見込みました。

なお、今回修正の通期予想売上高の対前年同期比較は、274 百万円（3.7%）の増加となっております。

予想経常利益以下につきましては、以下のような修正事項を加味した見直しを実施いたしました。売上総利益につきましては、売上高の減少に伴う減少となるものと分析しております。次に、販売費及び一般管理費につきましては、当初予算策定時に想定していた複数の開発案件の統合化及び開発用ソフトウェアの今期中の導入見送り等が想定され、研究開発費部分が減少す

る支出が見込まれております。また、営業外収益費用の項目につきましても、営業外費用の発生が当初予想を下回る見通しとなりましたことを受けて、今回修正の予想経常利益は当初予算と比較して226百万円減（△5.8%）の3,641百万円と見込みました。

また、特別利益以下の予想数値にも大きな変動が無く、今回修正の予想当期純利益は、当初予算と比較して157百万円減（△6.6%）の2,227百万円を見込みました。

今回の修正予想経常利益額の対前年同期比較は、367百万円（11.2%）の増加となり、修正当期純利益につきましては163百万円（7.9%）の増加となっております。

## 2. 配当予想について

平成17年3月期決算短信に記載の平成18年3月期配当予想額（1株につき5,500円及び記念配当金1,000円：合計6,500円）につきましては、変更しておりません。

今回実施いたしました通期予算の修正にかかわらず配当予想を修正していない理由は、アミューズメント市場に向けた次世代グラフィックス LSI 製品の開発動向が順調に進捗しており、サウンド LSI 等の通期での寄与及び当社にとりまして新しいカテゴリーに属する新製品の導入等が来期以降に予定され、アミューズメント市場における拡大傾向が継続するものと予測される点及び AG-9 シリーズの販売動向も順調に推移している点などを総合的に勘案し、今後におきましても増収増益を継続することが可能との判断によるものであります。

以 上